

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)の運用状況

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)

追加型投信／国内／株式

2016年9月13日

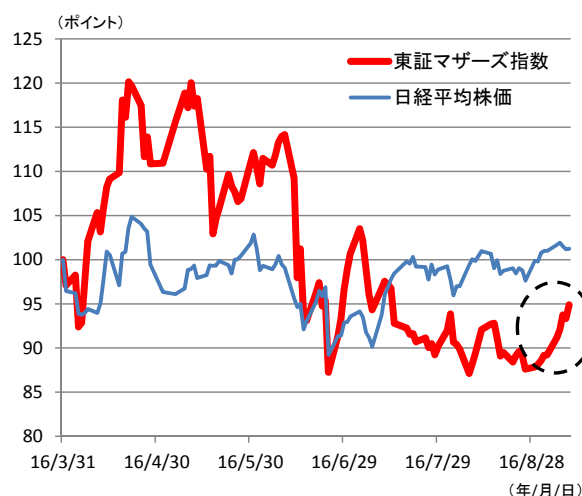
- ★国内株式市場では、9月に入り、新興市場株に出遅れ修正の動きが見られます。
- ★当ファンドでは、新興市場上場銘柄を有望な投資対象の1つと考え、独自のビジネスモデルで成長を図っている銘柄などに積極的に投資しております。

1. 新興市場株に出遅れ修正の動き

国内株式市場では、9月に入り、新興市場株に出遅れ修正の動きが見られます。日経平均株価など国内主要株価指数は、6月中旬まで軟調に推移していましたが、6月後半以降は上昇に転じ、その後も底堅く推移しています。これは、米国景気の回復期待や円高ドル安の一服、日本銀行による上場投資信託(ETF)の買入れ額の拡大などを受け、外需関連や金融関連の主力大型株を中心に物色が進んだことが背景にあると思われます。一方、新興市場株は物色圏外となり、東証マザーズ指数は7月から8月にかけて下値を切り下げる展開となりました。

しかし、9月に入ると、米国の経済指標の一部に弱さが見られたことなどから、円高ドル安への懸念が再び意識され、主力大型株は上値の重い展開となりました。こうしたなか、9月9日の東証マザーズ指数は8月2日以来の高値を更新するなど、主力大型株に対する出遅れを修正する動きが見られます(図表1破線丸印)。東証マザーズ指数の回復は、①為替相場の影響を受けにくい新興市場株に対する個人投資家の関心に戻ってきたこと、②4月に高値を付けてからの下落局面で需給面での調整が進んだと思われること、③東京ゲームショウの開催を9月15日に控え、仮想現実(VR)技術や人工知能(AI)などテーマ性の強い銘柄の物色が進んだことなどが背景にあると思われます。

【図表1】株価指数の推移



※ 2016年3月31日の値を100として指数化
(期間) 2016年3月31日～2016年9月9日 日次
(出所) QUICKより岡三アセットマネジメント作成

2. 有望な新興市場銘柄へ積極投資

新興市場に上場する企業のなかには、オーナー経営者などの強いリーダーシップのもと、独自の強みや特色のあるビジネスモデルにより業績拡大を続ける魅力的な企業が存在します。一方、新興市場株は企業規模が相対的に小さいこともあり、業績変化や株価変動が大きくなる傾向があるほか、大型株に比べ、市場流動性が低いことなど新興市場株特有のリスクがあると考えられます。

当ファンドでは、イノベーションなどにより中長期的な利益成長が期待される企業を選別するなかで、東証マザーズ銘柄などの新興市場株にも積極的に投資しております(図表2)。引き続き、新興市場上場銘柄を有望な投資対象の1つと考え、市場流動性などのリスクにも配慮しながら、地道な企業調査による銘柄選別を通じて、ファンドパフォーマンスの向上に努めてまいります。

【図表2】東証マザーズ上場の主要組入銘柄

(2016年9月9日時点)

銘柄コード	銘柄名	業種	事業概要	構成比
3679	じげん	情報・通信業	求人領域などを中心に、複数のWebサイトの情報を統合した独自サイトを通じて、検索や応募などを一括で行えるサービスを提供。	1.7%
1435	インベスターズクラウド	建設業	アパート経営プラットフォーム「TATERU」を通じて、土地情報の提供から、アパートの企画、施工、賃貸管理まで、ワンストップでサービス提供。	1.2%
3687	フィックスターズ	情報・通信業	半導体の演算・処理性能の高度化に向けたソフトウェア開発や、半導体メモリ関連技術を活かした独自製品の販売を行う。	0.8%

※ 組入銘柄の構成比は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

※ 本資料における銘柄紹介は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客でご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信／国内／株式

運用状況

(作成基準日：2016年9月9日)

設定来の基準価額の推移



ファンドの状況

基準価額	9,314円
純資産総額	7,432,035,634円
株式組入比率	94.9%
組入銘柄数	75銘柄

※ 基準価額は1万口当たりです。

- ※ 左記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
- ※ 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
- ※ 分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金（税引前）を当該分配金（税引前）が支払われた決算日の基準価額で再投資したものとして計算した基準価額です。
- ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	サービス業	26.5 %
2	情報・通信業	14.8 %
3	化学	10.0 %
4	小売業	8.8 %
5	電気機器	7.7 %
6	卸売業	6.8 %
7	食料品	4.7 %
8	建設業	3.3 %
9	機械	3.0 %
10	不動産業	2.7 %

組入上位10銘柄

順位	銘柄コード	銘柄名	構成比
1	4293	セブテーニ・ホールディングス	3.6 %
2	9830	トラスコ中山	3.2 %
3	3092	スタートトゥデイ	3.1 %
4	3076	あい ホールディングス	3.0 %
5	4290	プレステージ・インターナショナル	2.6 %
6	4403	日油	2.6 %
7	6345	アイチ コーポレーション	2.6 %
8	4819	デジタルガレージ	2.5 %
9	4751	サイバーエージェント	2.3 %
10	4587	ペプチドリム	2.3 %

市場・規模別構成比

市場・規模別	構成比
東証1部大型株	0.0 %
東証1部中型株	12.1 %
東証1部小型株	63.9 %
東証2部	0.0 %
JASDAQ	11.2 %
東証マザーズ	7.7 %

※ 業種、銘柄、市場・規模別の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。

※ 市場・規模別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星) ファンドの特色

- 日本の成長が期待される企業の株式※へ投資を行います。
※日本の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とします。
- 成長企業の選別にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。
- 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に注目します。
- 株式の組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資環境や市況動向に対応し投資信託財産の純資産総額の0%から100%の範囲で機動的に変更する場合があります。なお、株式の実質組入比率の引き下げを目的として、株価指数先物取引を行う場合があります。



(作成：エクイティ運用部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信／国内／株式

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
 - その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
藍澤證券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
飯塚中川証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第1号	○			
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長(金商)第16号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
長野證券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
奈良証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
リーディング証券株式会社	関東財務局長(金商)第78号	○			
六和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第37号	○			

<本資料に関するお問い合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)